

# 質の高い教育をみんなに

～私たちにできること～

宮城県内高校2年生

# 目的

世界の教育の状況を知ること  
世界の課題に対して  
私たちにできることを見つける。

# SDGs「4質の高い教育をみんなに」について

【目標】世界中の人々が平等に質の高い教育を受けられる世界を目指す！

【現状】

〈日本〉義務教育の環境が整っているため世界的にも高水準言われている。

〈世界〉小学校に通えていない子供約5900万人

→学齢期にある子供の12人に1人

読み書きできない大人約7億5000万人

→世界中の10人に1人(→うち3/2女性→男女格差も懸念)



# なぜ教育が大切なのか？

知識がなく読み書きができないと...

- 簡単な仕事もできず貧困に→**貧困の連鎖**に陥る可能性大
- 注意書きが読めず**命の危険**にあう
- 生活上必要なサービスにも申請できない
- 子供を適切に育てられない

# 結果①インタビュー

## ①教員の質

→分数の計算ができない先生や間違った答えを教えている先生がいた(基礎力が低い)。

## ②教育施設・環境

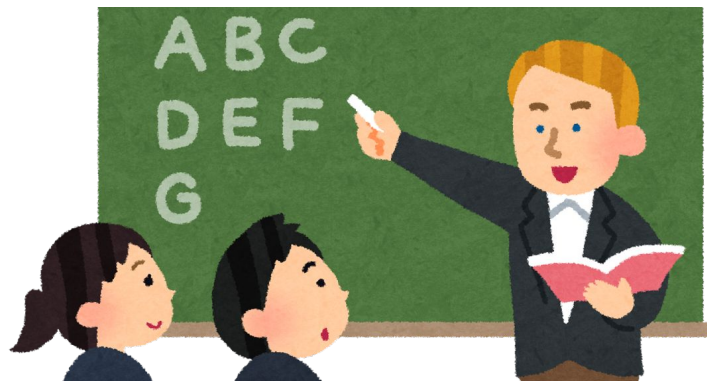
→テストはあるが机が1人1つ与えられていないため地面に座って書いている人やカンニングをしている人がいた。

→床が剥き出しになっていたり良い環境とは言えない。

# 仮説

結果①インタビューを通して、教育の質には...

- 大人(教員)の学力の質が関係している？
- 教育施設・環境が関係している？ ◀注目

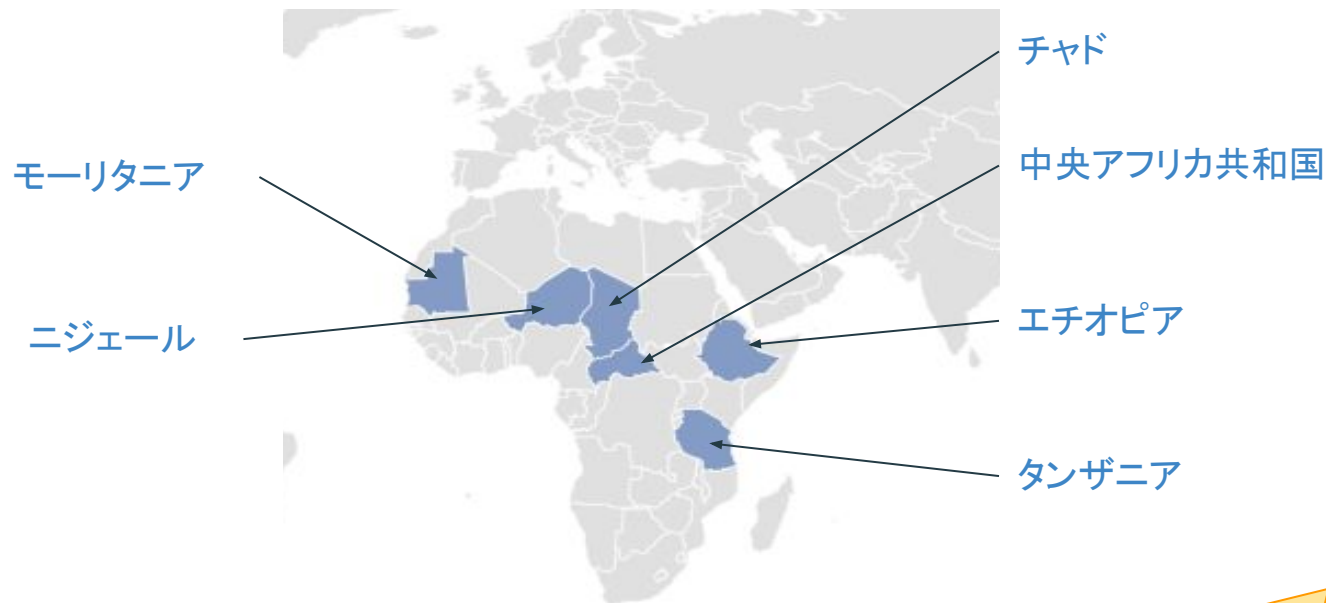


## 結果②非就学児率

●非就学児率とは...初等学校、中等学校、またはより高度な教育施設に就学していない、後期中等学校年齢の子どもの数。正規の後期中等学校年齢の子どもの総数に対する割合。

順位	国名	非就学児率(%)
1	タンザニア	86.5
2	ニジェール	86
3	中央アフリカ共和国	84.5
4	チャド	79.5
5	エチオピア	74
6	モータリニア	72.5
7	トケラウ	71
	サモア	19
	日本	3

# 結果③ マップチャート



6/7がアフリカ大陸



## 結果④

GDP  
国内総生産  
ODA  
政府開発援助

国名	GDP(米ドル)	ODA(流入額 100万米ドル)
タンザニア	1004.8	2584.0
ニジェール	375.9	1207.0
中央アフリカ共和国	471.6	508.0
チャド	664.3	648.0
エチオピア	768.0	4117.0
モータリニア	1161.8	284.0
トケラウ	-	7.0
サモア	4307.8	130.0
日本	38332.0	11463.0(※流出額 100万米ドル)
世界平均	10046.2	1447.8

# まとめ

結果②③④より、

- ・より高度な教育施設に就学していない人(非就学児率)の割合が高い国は**アフリカ**に多い。

- ・GDPとODAを比較すると非就学児率が高い7つの国と低い国(日本)では数字に大きな違いがある。

→**経済と密接な関わり**があることを証明

## 今後の展望

- ❑ 教育格差→男女格差→経済格差→貧困の連鎖の関係について追究する
- ❑ 私たちにできることについて具体的に明らかにする

## 参考文献

<https://www.unicef.or.jp/sowc/data.html>『世界子供白書2019』

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/4-education/>

『公益財団法人日本ユニセフ協会』

<https://www.unicef.or.jp/sfa/report/reason.html>『UNICEF』